

令和8年度 第I四半期

保証季報

四半期事業概況

月別事業概況

京の企業

株式会社永楽屋

金融機関紹介

京都北都信用金庫 綾部中央支店

お知らせ

常勤役員の異動について

創業塾に講師を派遣しました

地元美術大学の学生による作品の展示

新入職員紹介

協会組織図



舞鶴市 / 「護衛艦いすず」 錨

あなたの企業の一員に



京都信用保証協会

CREDIT GUARANTEE CORPORATION OF KYOTO

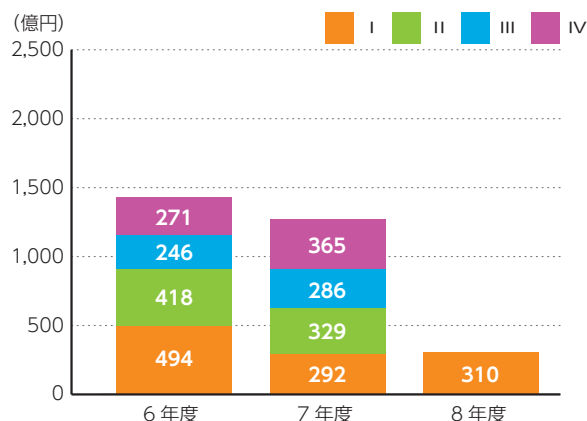




保証承諾

(単位：百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	1,945	30,965	108.3	106.0
II				
III				
IV				
年度累計	1,945	30,965	108.3	106.0

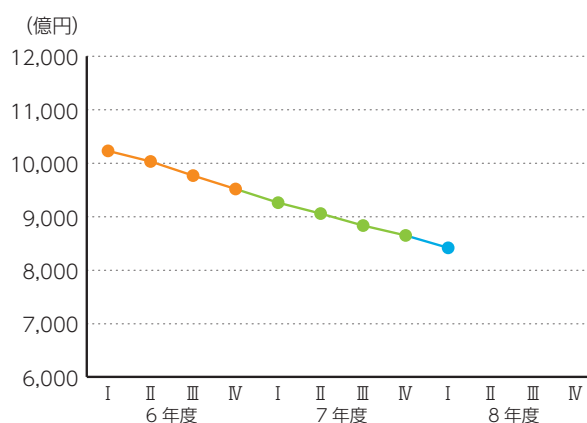


令和8年度第I四半期の保証承諾は、1,945件、309億65百万円となりました。
前年度同期と比べ件数で108.3%、金額で106.0%となり、件数、金額ともに上回りました。

保証債務残高

(単位：百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	60,544	841,487	99.5	90.9
II				
III				
IV				

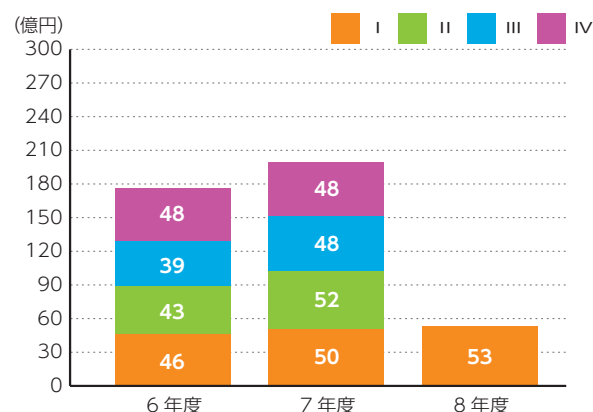


令和8年度第I四半期の保証債務残高は、60,544件、8,414億87百万円となりました。
前年度同期と比べ件数で99.5%、金額で90.9%となり、件数、金額ともに下回りました。

代位弁済

(単位：百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	314	5,332	114.2	106.1
II				
III				
IV				
年度累計	314	5,332	114.2	106.1

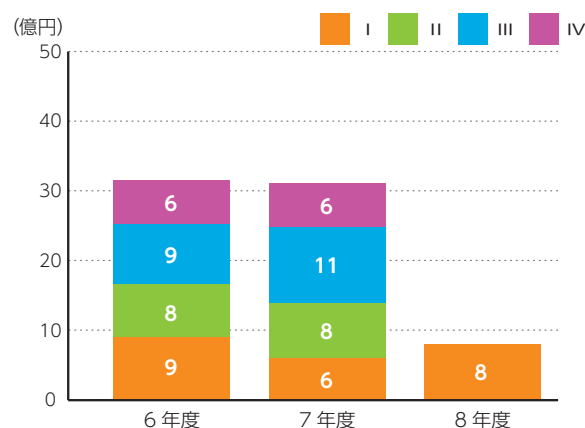


令和8年度第I四半期の代位弁済は、314件、53億32百万円となりました。
前年度同期と比べ件数で114.2%、金額で106.1%となり、件数、金額ともに上回りました。

求償権回収

(単位：百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	35	784	81.4	124.7
II				
III				
IV				
年度累計	35	784	81.4	124.7



※損害金回収を含む。件数は完済分。

令和8年度第I四半期の求償権回収は、35件、7億84百万円となりました。
前年度同期と比べ件数で81.4%、金額で124.7%となり、件数は前年を下回り、金額は上回りました。

月別事業概況

保証承諾

(単位：百万円、%)

月別	件数	金額	前年同月比	
			件数	金額
4	593	8,810	112.5	103.3
5	575	8,770	97.5	88.5
6	777	13,385	114.4	124.2
7				
8				
9				
小計				
10				
11				
12				
1				
2				
3				
小計				
累計	1,945	30,965	108.3	106.0
事業計画	—	120,000	—	—
全国累計	142,681	2,101,404	106.3	109.7

※全国累計は速報値。

保証債務残高

(単位：百万円、%)

月別	件数	金額	前年同月比	
			件数	金額
4	60,570	856,689	99.0	90.9
5	60,504	848,151	99.1	90.9
6	60,544	841,487	99.5	90.9
7				
8				
9				
上期平残				
10				
11				
12				
1				
2				
3				
下期平残				
年度平残				
事業計画	—	777,000	—	—
全国累計	2,888,132	32,579,842	99.9	96.5

※全国累計は速報値。

代位弁済

(単位：百万円、%)

月別	件数	金額	前年同月比	
			件数	金額
4	103	1,773	160.9	125.2
5	88	1,382	98.9	102.1
6	123	2,176	100.8	96.5
7				
8				
9				
小計				
10				
11				
12				
1				
2				
3				
小計				
累計	314	5,332	114.2	106.1
事業計画	—	24,000	—	—
全国累計	11,265	126,821	97.1	96.1

※全国累計は速報値。

求償権回収

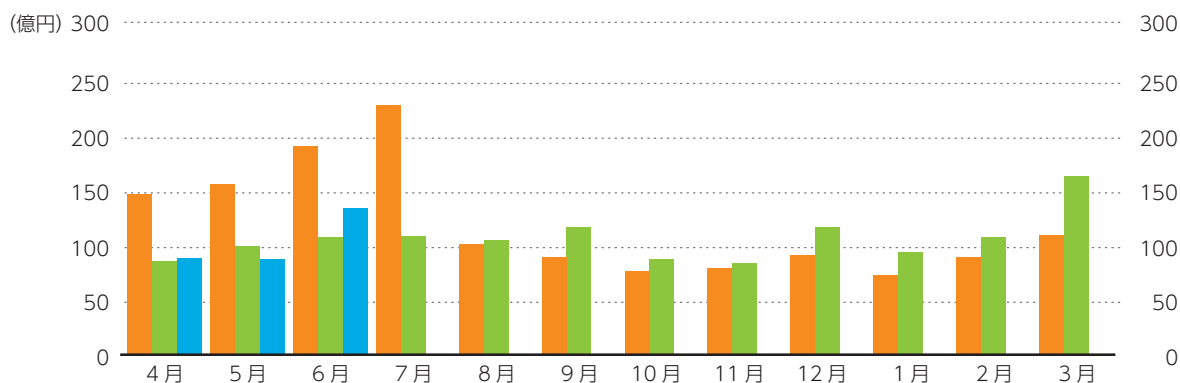
(単位：百万円、%)

月別	件数	金額	前年同月比	
			件数	金額
4	7	372	53.8	223.7
5	20	211	105.3	75.1
6	8	201	72.7	110.6
7				
8				
9				
小計				
10				
11				
12				
1				
2				
3				
小計				
累計	35	784	81.4	124.7
事業計画	—	2,800	—	—
全国累計	—	24,432	—	109.0

※損害金回収を含む。件数は完済分。全国累計は速報値。

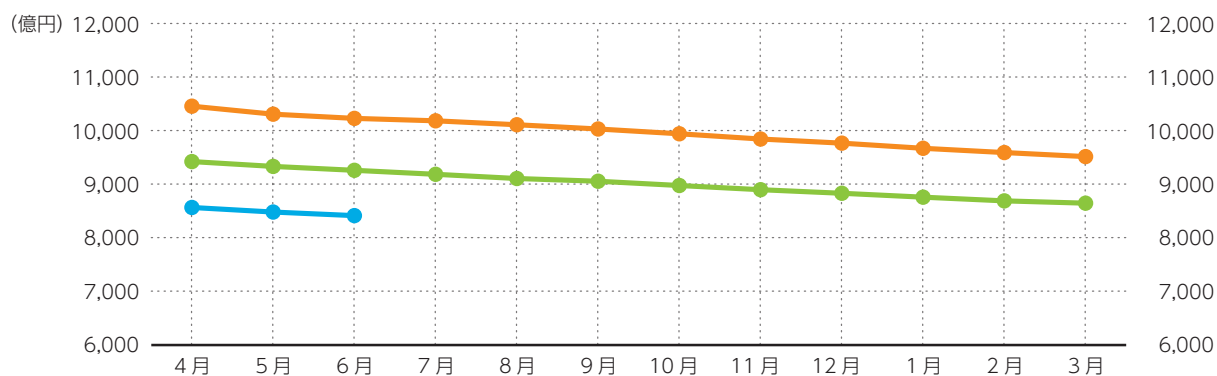
保証承諾

令和 6 年度 令和 7 年度 令和 8 年度



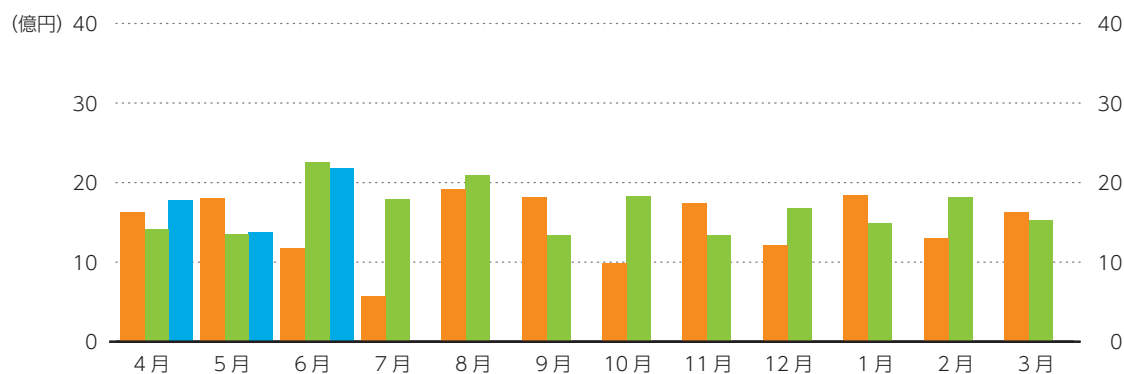
保証債務残高

令和 6 年度 令和 7 年度 令和 8 年度



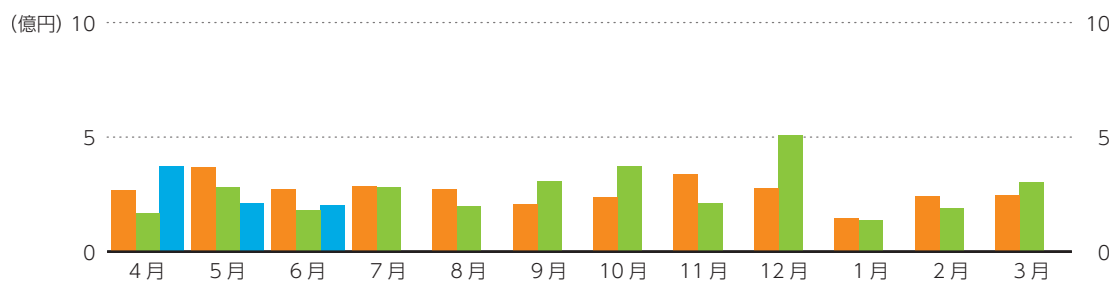
代位弁済

令和 6 年度 令和 7 年度 令和 8 年度



求償権回収

令和 6 年度 令和 7 年度 令和 8 年度



株式会社 永 楽 屋

株式会社永楽屋は、京都市山科区に本社を置き、佃煮や和菓子の製造、販売を行い、京都市中京区の本店では喫茶室も営んでいます。

今回、代表取締役 齋田 芳弘 様に事業の歩みや強み、大切にしている思い、今後の展望についてお話を伺いました。

事業の歩みについて伺いました。

当社は、1946年に私の曾祖父に当たる齋田永三郎によって創業されました。永三郎は、1911年に大阪市内で「齋田永三郎商店」を構えた後、紡績業を展開し、国内外に複数の事業所を持つまでになりました。上海にも事業所を置いていましたが、上海事変に伴い事業を撤退。1933年に商店を閉店し、故郷の京都に戻ってきました。第二次世界大戦後、日本全体で物資や食料が不足し、人々の生活が困窮していました。そうした状況の中で、永三郎は、「これからは人々の心を満たす食を届けていこう」との思いから、永楽屋を創業しました。創業当初は、仕入販売の形式で、手に入れやすい食材を使用したからいもの（佃煮）とあまいもの（菓子）を販売し、喫茶室も設置していました。「からいもの」と「あまいもの」は相対する組み合わせですが、どちらも日本人に欠かすことのできない「米と茶」によく合う食の彩りです。1953年に、乾椎茸問屋から小粒の冬茹椎茸の用い方について相談を受けたことをきっかけに「一と口椎茸」を製造し、そこから当社のものづくりが始まりました。

1968年に、本社と工場を河原町四条から山科に移転しました。私の実家も工場内に隣接していたため、幼少期は、毎日従業員と顔を合わせ、住み込みで働く職人やその子供と一緒に工場内を見て回る等、家業は常に身近な存在でした。その頃から、漠然と将来はここで働くことになるのかなと思っていました。大学卒業後、家族からは一度他社で経験を積んでから入社してはと言われましたが、私は家業に入るなら早い方がいいと考え、入社を決めました。

2007年に、代表取締役に就任してからは、本店2階の喫茶室の改装やオンラインショップの強化等に着手しました。特に、入社前から喫茶室が床面積の半分をバックヤードとして使用していることをもったいないと感じていたため、スペースを拡充して客席を増やし、屋根裏を吹き抜けにする等、親しみやすく居心地の

良い空間に改装しました。また、オンラインショップの強化に伴い、製造量と販売量のデータ管理方法を導入しました。それらをデータ化し、詳しく分析することで、製造のロスを減らしつつ、お客様へ安定して提供する体制を構築しました。

創業者の永三郎は、商売の道を志した商人でした。移り行く時代の中で、商人が商売を通して何を志し、何を届けるべきかという思いは、ものづくりやお客様に対し、誠実に向き合う姿勢となって、今もしっかりと受け継がれています。



一と口椎茸



琥珀 柚子



本店2階にある喫茶室

保証協会へのメッセージ

保証協会の担当者には熱い思いを持って、支援していただきました。特にコロナ禍では仕事の枠を超えて、支援いただき、心の支えとなっていました。担当者がかけてくださった言葉が後押しとなり、この仕事を次の時代へ繋げていこうという気持ちになりました。引き続きよろしくお願いします。



代表取締役 齋田 芳弘 様

強みについて伺いました。

当社の強みは、商品の質です。当社の商品は、大きな機械を使用せず、高い技術を持つ職人が、ほぼ全ての商品を手作りで作り上げています。お客様も機械を使用する商品よりも、職人が手作業で作上げた商品を好まれる傾向にあります。素材の状態を指先で感じ取り、一品一品に真心を込めた質の高い商品をお客様に届けています。

また、全国各地から選りすぐった素材を使用しています。お客様から、「京都府産のものを使わないのか」と聞かれることがありますが、京都府産にこだわらず、商品に最も適した素材を見極め、全国各地から取り寄せています。例えば、「琥珀 柚子」は、徳

島県産の柚子を使用しています。

柚子は、水が綺麗で寒暖差が大きいほど、酸味と香りが良くなります。そうした条件を備えた徳島の

地で育った柚子の香りは格別です。素材を選ぶ際は、現地に足を運び、素材の状態を確認したうえで直接仕入れています。



大切にしている思いについて伺いました。

「誠実なもののづくり」を父の代から大切にしてきました。どんな状況でもお客様に永楽屋の商品を届けるために、誠実にものづくりをすることが、私たちの使命だと考えています。お客様に対して誠実であるために、お客様の声に耳を傾けるようにしており、本店の喫茶室では、レシートにアンケート回答用 QR コードを掲載し、気軽に意見や感想をいただける仕組みを導入しています。お客様からのご意見は、すぐに社内でも議論し、改善に向けた対応を進めています。

また、私は、「変わらず、そして変わり続けること」が大切だと考えています。「不易流行」という言葉があります。新しみを求めて絶えず変化する流行性にこそ、永遠に変わることのない不易の本質があるという意味です。当社は、「誠実なもののづくり」を変わらず大切にしてきました。大切にしてきた本質はそのままに、変化を恐れず、永楽屋の商品の新たな可能性を見出し、成長し続けていきたいと思っています。

今後の展望について伺いました。

「お店はお客様が育てる」という考えのもと、今後、お客様とのつながりの場をより増やし、お客様の声が届きやすい環境づくりに力を入れていきます。

現在、イートインスペースは、本店の喫茶室のみです。本店では、季節限定（6月1日～8月31日）で「琥珀 レモンの雫」を添えたかき氷等を提供しています。喫茶室のオリジナルメニューと当社の和菓子を組み合わせ、室内で味わっていただくことで、当社の商品を知ってもらう機会になっています。室町店にも喫茶スペースを設け、当社を知ってもらう入口を増やしたいと考えています。

さらに、オンラインショップをはじめとしたネット販売にも力を入れていきたいです。直近では、個人情報を知らなくてもギフトを贈り合えるツールを導入しました。インターネットは、誹謗中傷等の悪い面が目立ちますが、気軽に意見をいただける

という良い面もあります。レビュー等で寄せられるご指摘を改善につなげることが大切だと考えているので、今後さらに、お客様が気軽に声を届けられる仕組みを整えていきたいと思っています。

お店を育てるのがお客様であるなら、経営において最も重要なのは「人材」です。業務状況を共有する仕組みを導入し、情報の「見える化」を進めています。社員全員が情報を共有し、自身の業務状況を発信することで、より自発的に行動しやすくなると考えています。また、社員一人ひとりが会社の経営計画を自分事として捉えられるよう、社員による「経営計画発表会」を実施し、主体的に取組みを考えるきっかけづくりも進めていきます。

伝統産業を扱う老舗店の廃業が増えている昨今ですが、当社はこれらの取組みを通じて、より多くの方に永楽屋の商品を届けられるよう、変わることを恐れず、成長していきたいと考えています。

株式会社 永楽屋

代表者 代表取締役 齋田 芳弘
住所／本社 京都市山科区西野大鳥井町 100 番地
本店 京都市中京区河原町通四条上る東側
事業内容 食料品製造業
創業 1946 年（1953 年法人化）





京都北都信用金庫

綾部中央支店

営業係



業務係・融資係



支店のスローガン

挑み続ける組織であれ

地域密着型の信用金庫ならではの、お客様に寄り添ったきめ細かい営業活動とサービスを第一に、お客様に地域で一番信頼される店舗になるよう心掛けています。

支店の沿革

昭和2年2月
有限責任 綾部信用組合として発足
(綾部町役場内)
昭和36年1月
綾部信用金庫本店として新築移転
平成14年11月
5金庫合併により京都北都信用金庫
綾部中央支店に改称
平成30年1月22日
新築オープン、現在に至る



〒623-0066
京都府綾部市駅前通 11-1

支店管内の産業の特色及び中小企業金融の取組みなどについて

当店の所在地である綾部市は、京都府の中央北寄りに位置し、歴史文化に彩られたものづくりを中心とする産業にて発展してきました。近年は、都市部への人口流出もあり、人材不足や後継者問題など事業者を取り巻く環境が益々厳しさを増していることから、M&A やビジネスマッチングなど本業支援による事業者に関心を持った活動を実践しています。

保証協会との連携について

物価高騰や中東情勢の緊迫感が増す中で、金利の上昇やコロナ融資の返済負担も重なり、事業者の経営環境は一層厳しさを増しています。保証協会様には保証制度を通じた資金繰り支援に留まらず、今後も行政（商工会議所）と当金庫が三位一体となり、事業者の課題解決に向けた連携に努めていくことが大切であると考えています。



支店長のモットー

一所懸命

小学生の頃から就きたかった「金融」の仕事。人とお金の関わりが一番強いと思っていた仕事で「繋がり」を大切に、自分がいるこの綾部地域で京都北都信用金庫として「金融」の役割と責任を果たすため“一所懸命”全力を尽くします。



支店長 樋口 美奈子 様

▶ これまでで一番心に残る体験

営業力に不安がある取引先があり、支店長として営業力の強化に繋がるよう商談に同席をし、アドバイスをを行いました。また、他金融機関にもお願いし、新規取引先の紹介に繋がりました。垣根を超えた経営支援により、取引先からは「京都北都信用金庫さんのおかげです。今後も支援願います。」と感謝のお言葉をいただきました。

▶ 職員の方々へのアドバイス

「チャンス逃すな。まず決断せよ。石橋を叩くのはそれからである。」これは、西堀栄三郎の名言ですが、先ず行動を起こすことが重要であり、決断を先延ばしにせず、目の前のチャンスを捉えることが大切であるという意味だとされています。

失敗を恐れず、慣れないことにも挑戦し、常に成長する姿勢を持って新しいことを学んで欲しいと思います。

▶ 保証協会へメッセージ

現下の経済環境においては、金融支援の強化とともに、保証協会様、行政、金融機関が連携し一体となる総合的な事業者支援が不可欠です。

これまで以上に連携強化を図り、事業者様の経営基盤強化へ向けて当金庫職員への指導および幅広いアドバイスを引き続きお願いします。

常勤役員の異動について

令和 8 年 7 月 21 日に理事会が開催され、新たな理事長に 橋本 幸三、常務理事に 石田 一路 が就任いたしました。また、常勤監事に 玉野 正志 が就任いたしました。



《橋本理事長プロフィール》

昭和 55 年より京都府庁に勤務。観光・商業課長、京都府教育委員会教育長などを経て、令和 4 年 7 月から京都府監査委員を務め、令和 8 年 7 月に退任。

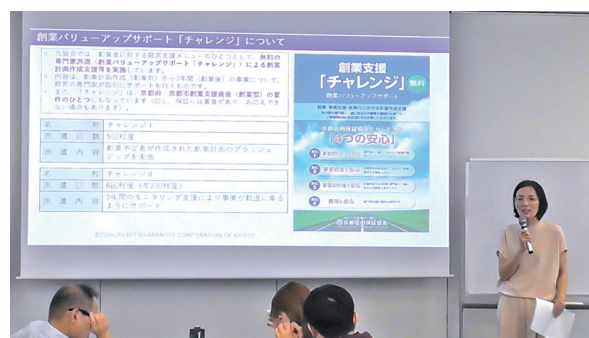
令和 8 年 7 月に当協会理事長に就任。

	就任 (令和 8 年 7 月 21 日付)	退任 (令和 8 年 7 月 20 日付)
理 事 長	橋本 幸三	山内 修一
常務理事	石田 一路	窪田 雅之
常勤監事	玉野 正志	石田 一路

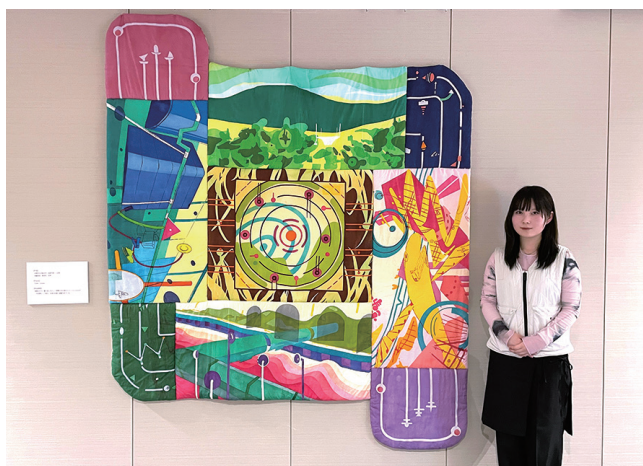
創業塾に講師を派遣しました

令和 8 年 6 月 27 日に京都商工会議所で開催された「創業塾」に職員を講師として派遣し、当協会の概要や創業融資、支援制度について説明を行いました。

引き続き、関係機関等と連携し、地域産業の発展に寄与してまいります。



地元美術大学の学生による作品の展示



平成 30 年度から、当協会では、学生の教育支援を目的に京都市立芸術大学と連携し、学生が制作した芸術作品を本所に展示しています。

今年度は、新たに海老名里歩氏の作品（染織）を本所エントランス正面に展示しています。

また、これまでエントランス正面に展示していた作品のいくつかも、応接通路に展示していますので、併せてご覧ください。

海老名 里歩 氏

「Town・Circuit」（染織）

作品説明 帰路の中で、繰り返し目にして蓄積された街のイメージとエネルギーを回路として捉え、自身の位置と基盤を形づくる。

令和8年度 新入職員紹介

今年度は、7名の新入職員を迎えました。
今後は、皆様とお会いする機会が増えると思いますので、ご指導の程、よろしくお願いいたします。

質問事項

1 2 3

今後の抱負
学生時代に熱中したこと
私のモットー



企画総務部 総務課
あきやま ゆうま
秋山 優馬

- 1 「睡眠第一」です。人は体が資本、明日は睡眠の前から始まっていると思って早寝を心がけています。
- 2 バスケットボールです。あまり上手ではなかったですが、今はNBAで活躍する日本人選手に元気をもらっています。
- 3 まずは、頼まれた仕事をしっかりとこなし、チームの一人として信頼される人間を目指します。



企業支援部 保証統括課
おにし ゆい
大西 優衣

- 1 人との出会いや、つながりを大切にする事です。相手への感謝と思いやりを忘れず、何事にも前向きに取り組めます。
- 2 部活です。アメフト部で日本一を目標に、チーム一丸となって日々努力し続けました。結果、二連覇を果たすことができました。
- 3 常に学ぶ姿勢を忘れず、一つ一つの業務に責任感を持って取り組み、周囲の方から信頼していただける職員を目指します。



企業支援部 企業発展課
いida なおや
飯田 直哉

- 1 「千里の道も一歩から」です。長い社会人生活、少し立ち止まる瞬間もあるかもしれませんが、一歩一歩着実に取り組めます。
- 2 経済分野に関連した本を読むことです。信用保証協会への就職を志すきっかけになりました。
- 3 事前準備を大切にして、誠実に仕事に取り組めます。そして、少しずつ信頼を積み上げていきます。



企業支援部 調整支援課
おおくぼ さとし
大久保 智之

- 1 対話を諦めないことです。塾講師として働いていた際にも多くの生徒と積極的にコミュニケーションを取ることを意識していました。
- 2 ソフトテニス部での活動です。プレイヤーとして試合に出場していましたが、会計担当も兼任して務め、組織運営の大変さを実感しました。
- 3 今はまだ、業務の中で分からないことも多くありますが、何が理解できていないのかを把握し、1日でも早く知識を吸収したいと考えています。



債権管理部 管理第一課
なかしま ひなこ
中島 日菜子

- 1 とりあえずやってみる事です。失敗は成功のもととも言いますし、何事にも自分でやってみることを大切にしています。
- 2 スポーツ観戦です。バレーボールの試合やフィギュアスケートのアイスショーを中心に観覧し、ファン活動に没頭しました。
- 3 学ぶことが幼い頃から本当に大好きなので、常に学びの精神を忘れず、仕事に対して真摯な姿勢で取り組みたいと思います。



債権管理部 管理第二課
ふるや けいご
古家 圭悟

- 1 初心を忘れることなく、誠実さを軸に取り組む事です。あとは健康に、元気に毎日過ごしていきたいです。
- 2 オープンキャンパスを運営する、学生団体の活動に熱中しました。大学職員の方々と関わる活動だったので、責任感のある活動でした。
- 3 分からないことを分からないままにせず知識をつけ、石橋を叩きまくりながら仕事に取り組んでいきたいです。



債権管理部 管理第二課
すえなが じゅうざ
末永 崇紗

- 1 よく聞き、よく考え、よく話す事です。疑問点はすぐに聞き、自分の考えを整理して伝えることで、相手の行動の意図を理解するように心掛けています。
- 2 ゲームサークルに所属し、格闘ゲームに熱中しました。今でも良いストレスの発散になっています。
- 3 分からないことばかりです。早く一人前になるためにも、物怖じせず、様々なことに取り組んでいこうと思います。

協会組織図 (令和8年8月1日現在)

理事長 橋本 幸三

副理事長 別府 正広(担当:企画総務部・支所)

専務理事 川口 英之(担当:企業支援部)

常務理事 石田 一路(担当:債権管理部)

常勤監事 玉野 正志

本所

経営監査室

室長/徳永(興) ————— [兼務] 課長補佐/松本 ————— [兼務] 係長/西川

企画総務部

部長/長島(岳) ————— 副部長/重松 —————

- 総務課** ————— 課長補佐/松本 ————— 係長/西川
課長/阪東 担当係長/山口(葉)
担当課長/高山
業務推進役/石井
- 人事課** ————— 係長/中川
課長/掛田 係長/西澤(栄)
- 情報企画課** ————— 課長補佐/小嶋 ————— 担当係長/日下部
課長/若木 [東京信保出向(システムセンター)]
推進役/上松

コンプライアンス室 ————— [兼務] 担当課長/高山 ————— [兼務] 担当係長/山口(葉)
[兼務] 室長/重松

企業支援部

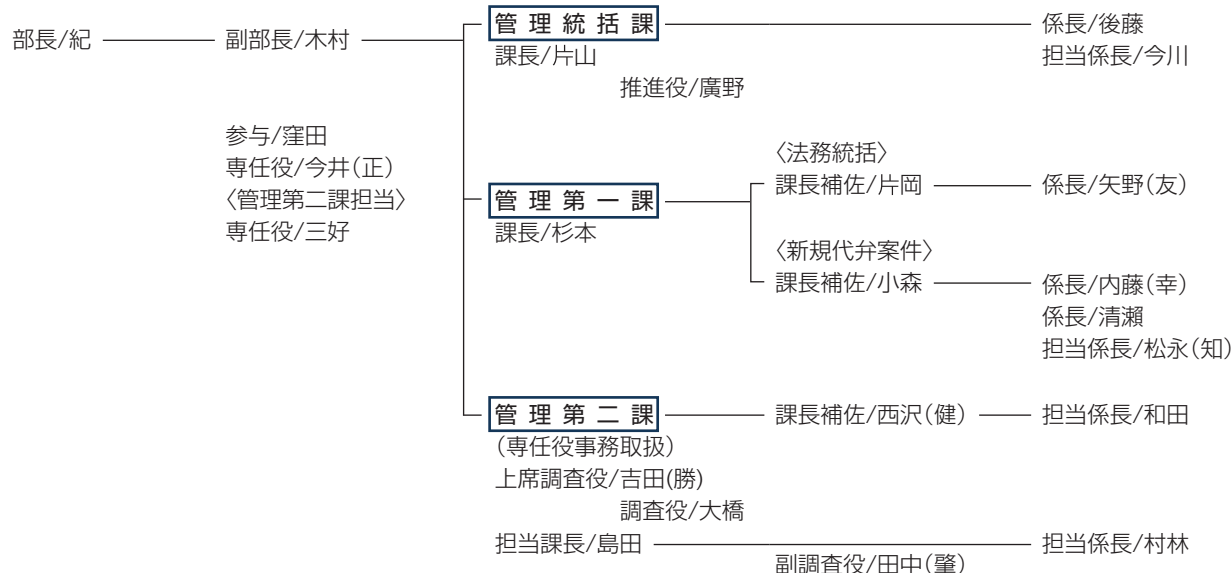
部長/大月 ————— 副部長/坂越

担当部長/吉田(基) ————— 副部長/松永(和) 副部長/糠谷

- 保証統括課** ————— 係長/西山
課長/横澤 担当係長/廣瀬
- 企業発展課** ————— 課長補佐/土居 ————— 担当係長/戸出
課長/吉村(晃)
担当課長/矢野(哲)
- 企業支援課** ————— 課長補佐/石河(俊) ————— 係長/小坂(勇)
課長/内海
推進役/東郷(克)
- 経営支援課** ————— 課長補佐/大嶋 ————— 担当係長/小川(亮)
(松永副部長事務取扱) 担当係長/藤村(真)
推進役/三輪 担当係長/濱野
- 再生支援課** ————— 係長/山形
(糠谷副部長事務取扱) 担当係長/篠(英)
担当課長/浅井 担当係長/八田
- 調整支援課** ————— 課長補佐/高木 ————— 係長/小林
課長/廣部

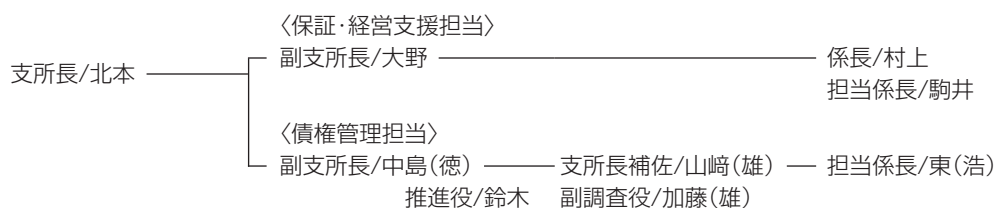
本所

債権管理部



支所

山城支所



南丹支所



中丹支所



丹後支所



本 所

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷
鉾町78番地 京都経済センター5階

●業務区域 京都市、向日市、長岡京市、乙訓郡

●電 話

●FAX

保 証 統 括 課	課：(075) 354-1011	(075) 354-1061
企 業 発 展 課	課：(075) 354-1012	(075) 354-1062
企 業 支 援 課	課：(075) 354-1013	(075) 354-1063
経 営 支 援 課	課：(075) 354-1015	
再 生 支 援 課	課：(075) 354-1016	(075) 354-1065
管 理 統 括 課	課：(075) 354-1031	(075) 354-1038
管理第一課・第二課		
総 務 課	課：(075) 354-1021	(075) 354-1028
(経営監査・コンプライアンス室)		
人 事 課	課：(075) 354-1022	(075) 354-1028
情 報 企 画 課	課：(075) 354-1023	(075) 354-1029

専用相談窓口

●電 話

事業承継サポートデスク (075) 354-1018

海外展開サポートデスク (075) 354-1019

創業サポートデスク (075) 354-1020

山城支所

〒611-0033 宇治市大久保町上ノ山37番地の3

●業務区域 宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、
相楽郡、綴喜郡、久世郡

●電 話

●FAX

保証関係：(0774) 43-8822 保証関係：(0774) 43-8899

管理関係：(0774) 43-8823 管理関係：(0774) 43-8824

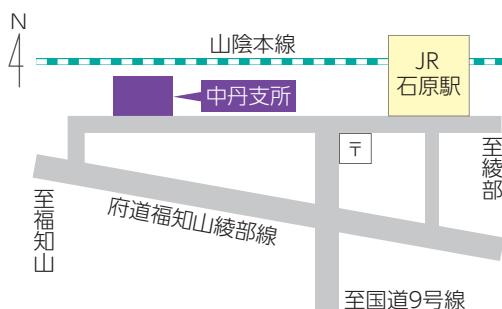


中丹支所

〒620-0804 福知山市石原2丁目24番地

●業務区域 福知山市、綾部市、舞鶴市

●電 話 (0773) 27-6156 ●FAX (0773) 27-6158



南丹支所

〒621-0052 亀岡市千代川町千原2丁目6番11号

●業務区域 亀岡市、南丹市、船井郡

●電 話 (0771) 22-1041 ●FAX (0771) 22-6737



丹後支所

〒629-2503 京丹後市大宮町周枳小字古屋敷1925番地1

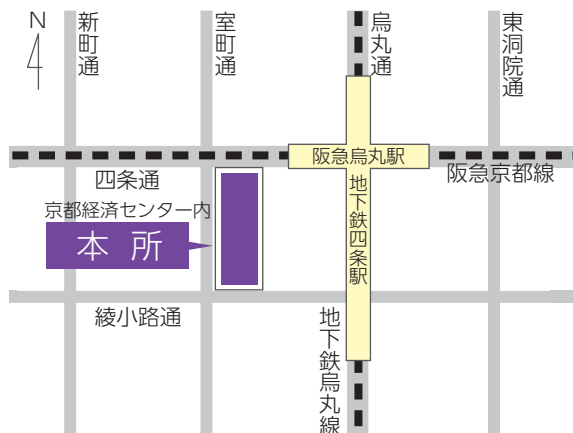
●業務区域 宮津市、京丹後市、与謝郡

●電 話 (0772) 68-0601 ●FAX (0772) 68-0613



お役立ち情報を公式LINEにて随時配信中！
ぜひ、友だち登録をお願いします！

LINEID @cgc-kyoto



保証季報

令和8年度

第I四半期

あなたの企業の一員に

京都信用保証協会
CREDIT GUARANTEE CORPORATION OF KYOTO



<https://kyosinpo.or.jp/>

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

京都信用保証協会は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

